





はじめに お読みください

(Windows 95インストールモデルの場合は、先に『ご利用にあたって』をご覧ください。)

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。 梱包箱を開けたら、まず本書の手順通りに操作してください。

操作の流れ	1	添付品の確認と設置
	2	添付品の接続 ^{本体の型を見て、本書の各型の頁をご覧ください。} ミニタワー型の場合
	3	Windowsのセットアップ33 はじめてこのパソコンの電源を入れるときには、自分の名前などを登録して、 Windowsをセットアップします。
	4	980FFICIAL PASSメンバーへの登録
	5	便利な機能の設定
	6	マニュアルの使用方法45 このパソコンに添付されているマニュアルの使い方について説明しています。

本書に記載のイラストや画面はモデルにより多少異なります。



添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリス トを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損して いた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。 P.4 ⑤の型番を参照すると、より分かりやすくなります。

下記のほかにも添付品が入っている場合があります。

● 箱の中身を確認する

保証書

(本体梱包箱に貼り付けられています) 保証書は、ご購入元で所定事項をご記入のうえ、お受け取りに なり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保 証書記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修 理については、ご購入元または、NECサービスセンター、サービス ステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる 場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、 保証書をご覧ください。

はじめにお読みください(このマニュアルです)

本体

添付品収納箱

キーボード



マウス



- *1 ESMPRO/ClientManager Ver2.0/Ver2.1, DeliveryManager Ver4.0/Ver4.1/Ver5.0(5/tz>ZFD)
- *2 一太郎9パッグ(一太郎9、三四郎8/R.2U、花子9、FullBand1.2U with ATOK12)、JUSTSYSTEM電 子辞書ライプラリ(研究社新英和・和英中辞典、岩波国語辞典)(添付)

*3 Microsoft_® Excel97 & Word98 & Outlook[™]98 for Windows_® 、Microsoft_®/Shogakukan Bookshelf_® Basicマルチメディア統合辞典Version2.0(添付)





・ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの 箱の中身については、ディスプレイの箱の中の説明書で確認す る

(P.5 G- で、ディスプレイのあるなし、種類がわかります)

④本体の背面またはルーフカバーにある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保 証書は大切に保管しておいてください。

5型番を記入する

型番をこの枠に記入しておくと添付品の確認、マウス、キーボード、 ディスプレイ、リンクケーブル / モジュラーケーブルの接続を行うと きに便利です。



の意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

型番	クロック周波数
30	300A MHz
33	333 MHz
35	350 MHz
40	400 MHz
45	450 MHz

CPUの種類を表しています。

型番	CPU
D	Pentium [®] II プロセッサ
н	Celeron™ プロセッサ

本体の型を表しています。

型番	本体の型
C または L	省スペース型
М	ミニタワー型
S	デスクトップ型

ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

型番	ディスプレイ
5	15 インチ CRT ディスプレイ(DV15A2)
7	17 インチ CRT ディスプレイ(DV17B2)
Е	18 インチ広視野角 TFT 液晶ディスプレイ(F18S1W)
F	15 インチ液晶ディスプレイ(F15T1)
G	15 インチ広視野角 TFT 液晶ディスプレイ(F15S1W)
Н	14.1 インチ液晶ディスプレイ(F14T3W)
J	14.1 インチ広視野角 TFT 液晶ディスプレイ(F14S1W)
Z	なし

選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

型番	選択アプリケーション
Ν	ESMPRO クライアントライセンス
Т	なし
U	一太郎 9 パック
V	Word 98 & Excel 97
W	一太郎 9 & 1-2-3 98

3.5インチベイに標準内蔵されているファイルとキーボードの種類を 表しています。

型番	ファイル	キーボード
Н	フロッピーディスクドライブ	USB 小型キーボード
L	スーパーディスクドライブ	USB109 キーボード
М	フロッピーディスクドライブ	USB109 キーボード
S	スーパーディスクドライブ	USB98 配列キーボード
Т	フロッピーディスクドライブ	PS/2 109 キーボード
U	スーパーディスクドライブ	PS/2 109 キーボード
V	フロッピーディスクドライブ	USB98 配列キーボード
W	スーパーディスクドライブ	USB 小型キーボード

メモリの容量とネットワークボードの種類を表しています。

型番	メモリ容量	ネットワークボード
А	32MB	LAN ボード
В	64MB	LAN ボード
С	96MB	LAN ボード
D	128MB	LAN ボード
Т	32MB	FAX モデムボード
U	64MB	FAX モデムボード
V	96MB	FAX モデムボード

ハードディスクの容量を表しています。

型番	容量
3	3.2GB
4	4.3GB
6	6.4GB
8	8.4GB
D	16.8GB

上記 ~ のすべての組合わせが実現できているわけではありません。





電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。

電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてく ださい。

電源ケーブルの付け根部分を無理に曲げないでください。



ケーブル類は、つまずかないように整理してください。

設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

屋内

温度10 ~35 **湿度20%~80%** (ただし結露しないこと) 平らで十分な強度があり、落下のおそれがない (机の上など)

▶ 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因と なります。

磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているもの の䜣く

盲射日光があたる場所

暖房構の近く

薬品や液体の近く

テレビ、ラジオ、コードレス電話、ほかのディスプレイなどの近く

人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

ホコリが多い場所

本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

ディスプレイの通風孔がふさがる場所

テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら……

設置場所が決まったら、本機を設置します。本機は精密機器ですから、慎 重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因と なります。

パソコンの接続部は、背面にまとまっています。

いきなり壁際にパソコン本体を置いてしまうと、うまく接続できません。 机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。

できるだけ通風孔をふさがないように15cm以上のスペースを確保して ください。キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要で す。



デスクトップ型の場合はP.17をご覧ください。 省スペース型の場合はP.24をご覧ください。

ミニタワー型の場合

スタビライザをセットします

本体には、本体を安定して設置するためのスタビライザという脚があり ます。スタビライザは梱包箱から出したままの状態では、本体底面にたた み込まれています。転倒防止のため、このスタビライザを出して設置して ください。



本体はスタビライザを使用して、縦置きで使用してください。 横置きで使用すると、故障の原因となります。



1. マウス、キーボードを接続します

●または②のどちらかで接続する

●USB小型キーボードまたはUSB109キーボードまたはUSB98配列 キーボード(P.5 ⑤- がH、MまたはV)の場合

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを本体のUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイがセットになったモデルの場合は、液晶ディ スプレイのUSBコネクタに接続する 左右どちらのコネクタを使用してもかまいません。



②PS/2 109キーボード(P.5 ⑤- がT)の場合

添付のマウス(グリーン)キーボード(オレンジ)を同色のコネクタ に接続する



2. ディスプレイを接続します

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイのマニュアルを参照して接続してください。

- ●~ ●の順番に接続する
 - ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のアナログRGBコネクタアイコン(○)を確認して接続する
 - ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジをしめて、しっ かりネジ止めする
 - ③液晶ディスプレイの場合は、本体と液晶ディスプレイをUSB
 ケーブルで接続する

液晶ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。



3. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続します

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、①の手順で接続する

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、
のの手順で接続する

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』「FAXモ デムボード」をご覧になり、接続前の確認を行ってください。ここで は、モジュラーコンセントに接続する場合を例に説明します。)

●リンクケーブルを接続する場合

本体にリンクケーブルを接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する



稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。 電話機につながっているケーブルと、モジュラーケーブルの一方 を、本体に接続する



モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

パソコンを電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通 り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続します

🕂 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。 アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

次の頁のイラストを見て①~〇の順番に接続する

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次の頁の図はCRTディスプレイの場合です。液晶ディスプレイ の電源ケーブルの接続については、液晶ディスプレイのマニュ アルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

●本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

- 度電源が入り、1~2秒で電源が切れます。(故障ではありません。)



以上で添付品の接続は完了です。 P.33³Windowsのセットアップ」へ進んでください。 ミニタワー型の場合はP.9をご覧ください。 省スペース型の場合はP.24をご覧ください。

デスクトップ型の場合

添付品を接続します

1. マウス、キーボードを接続します

●または2のどちらかで接続する

●USB小型キーボードまたはUSB109キーボードまたはUSB98配列 キーボード(P.5 ⑤- がH、MまたはV)の場合

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを本体のUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイがセットになったモデルの場合は、液晶ディ スプレイのUSBコネクタに接続する 左右どちらのコネクタを使用してもかまいません



②PS/2 109キーボード(P.5 ⑤- がT)の場合

添付のマウス(グリーン)キーボード(オレンジ)を同色のコネクタ にそれぞれ接続する



2. ディスプレイを接続します

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレ イのマニュアルを参照して接続してください。

● ~ ○ の順番に接続する

本体のアナログRGBコネクタの位置は、機種によって異なります。 右図で機種とアナログRGBコネクタの位置を確認してから接続し てください。

- ●ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のアナログRGBコネクタにアイコン(○)を確認して接続する
- ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジをしめて、しっ かりネジ止めする
- ③液晶ディスプレイの場合は、本体と液晶ディスプレイをUSB
 ケーブルで接続する

液晶ディスプレイに添付のマニュアルを参照して接続してく ださい。

・MA30H/S,MA33H/Sの場合



・MA35D/S,MA40D/Sの場合



3. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続します

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、①の手順で接続する

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブ ルを使い、
のの手順で接続する

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』「FAXモ デムボード」をご覧になり、接続前の確認を行ってください。ここで は、モジュラーコンセントに接続する場合を例に説明します。)

●リンクケーブルを接続する場合

本体にリンクケーブルを接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する



稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。 電話機につながっているケーブルと、モジュラーケーブルの一方 を、本体に接続する



モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

パソコンを電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通 り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続します

∕⚠ 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があ ります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。 アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

次の頁のイラストを見て①~〇の順番に接続する

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

図はCRTディスプレイの場合です。液晶ディスプレイの電源 ケーブルの接続については、液晶ディスプレイのマニュアルを ご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

●本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

- 度電源が入り、1~2秒で電源が切れます。(故障ではありません。)



ミニタワー型の場合はP.9をご覧ください。 デスクトップ型の場合はP.17をご覧ください。

省スペース型の場合

スタビライザをセットします

このパソコンには、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するた めのスタビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したまま の状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使 用する場合は、転倒防止のため、必ず図のようにスタビライザをスタビラ イザ取り付け用ネジで取り付けて設置してください。 また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザ をセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、本体の上に約 17kgまでのディスプレイなどを置くことができます。

● 机の端などに本体を横置きに安定させる

2つのスタビライザを図のようにかみ合わせる



③本体底面の突起にスタビライザを合わせて、スタビライザ取り付け用 ネジ2個を使い取り付ける



下図のように、片側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、1つのス タビライザを本体の、壁などと反対側の側面のみにセットすることがで きます。



1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、 必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させてから、1つのスタビラ イザを、スタビライザ取り付け用ネジ2個を使い取り付けてください。

本体の左側にセットする場合



・ 本体の右側にセットする場合



1. マウス、キーボードを接続します

●または②のどちらかで接続する

●USB小型キーボードまたはUSB109キーボードまたはUSB98配 列キーボード(P.5 ⑤- がH、L、M、S、VまたはW)の場合

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを液晶ディスプレイまたはパソコン本体のUSBコ ネクタに接続する

液晶ディスプレイに接続する場合は、液晶ディスプレイの左側にある2つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかまいません。



②PS/2 109キーボード(P.5 ⑤・がTまたは∪)の場合 添付のマウス(グリーン)キーボード(オレンジ)を同色のコネク





2. ディスプレイを接続します

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイのマニュアルを参照して接続してください。

- ●~ ●の順番に接続する
 - ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のアナログRGBコネクタアイコン(○)を確認して接続する
 - ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジをしめて、しっ かりネジ止めする
 - ⑦液晶ディスプレイの場合は、本体と液晶ディスプレイをUSB
 ケーブルで接続する

液晶ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。



3 リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続します

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、①の手順で接続する

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブ ルを使い、2の手順で接続する

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』「FAXモ デムボード」をご覧になり、接続前の確認を行ってください。ここで は、モジュラーコンセントに接続する場合を例に説明します。)

●リンクケーブルを接続する場合

本体にリンクケーブルを接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する



稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。 本体に、電話機につながっているケーブルと、モジュラーケーブ ルの一方を、本体に接続する



モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

パソコンを電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通 り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続します

⚠️ 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があ ります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。 アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

次の頁のイラストを見て 〇~〇の順番に接続する

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次の頁の図は液晶ディスプレイの場合です。CRTディスプレイ の電源ケーブルの接続については、CRTディスプレイのマニュ アルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

●本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

- 度電源が入り、1~2秒で電源が切れます。(故障ではありません。)



3

Windowsのセットアップ

はじめてパソコンの電源を入れるときは、自分の名前などを入力する Windows 98セットアップの作業が必要です。この作業には全部で30分 程度の時間がかかります。

セットアップをするときの注意

プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶 対に行わないでください。これらの周辺機器をパソコンと一緒に購入 した場合は、先にWindows 98のセットアップ作業を完了させてから、 周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。

途中で電源を切らない、スリープボタンを押さない 作業の途中では絶対に電源を切ったりスリープボタンを押さない(ス タンバイ状態にしない)でください。作業の途中で、電源スイッチを操 作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途 中で画面が止まるように見えることがあっても、故障ではありません。 慌てずに手順通り操作してください。

セットアップを始める前の準備

次のものを準備しておいてください。

- 『Microsoft_® Windows_® 98ファーストステップガイド』 セットアップの途中で、表紙に記載されているWindows 98の製造番号(プロダクトキー)が必要になり ます。
- ・使用する人の名前
 このパソコンを使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。



Windows 98の 製造番号 (プロダクトキー)

電源を入れる

●、 ②の順番に電源を入れてください。

● ディスプレイの電源を入れる

・CRTディスプレイの場合



・液晶ディスプレイの場合



❷本体の電源を入れる

・ミニタワー型の場合



・デスクトップ型の場合



・省スペース型の場合



セットアップの作業手順

電源を入れるとしばらくして次の画面が表示されます。



本紙に記載の画面は、モデルによって異なる場合があります。また、実際の画面とは多少異なることがあります。

これ以降は、セットアップの作業手順が完了するまで、スリープボタンと 電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する 前にスタンバイ状態にしたり電源を切ると、故障の原因になります。

障害が発生した場合や、誤って電源スイッチを押してしまった場合は、 『活用ガイド ソフトウェア編』PART4トラブル解決Q&A」をご覧く ださい。強制終了の方法やスキャンディスクの操作方法が記載されてい ます。

● キーボードの【Enter】を押すと、ハードディスクのチェックが 始まるので、チェックが終了したら【Enter】を押す

キーボードの使い方 『活用ガイド ハードウェア編』

❷ 次のような画面が表示されたら、キーボードを使って名前と会社名を入力する

名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

会社名を入力する場合は会社名の欄にマウスポインタを合わせ てクリック

名前と同じように会社名を入力することができます。

「次へ」ボタンをクリック

Windows 98 セットアップ ウィ	ザード	
	ユーザー情報	
	下記のボックスに名前を入力してください。 会社名も入力 できます。	
	名前(魚):	
	会社名([):	
2 🗢 🛛		
→		
	< 戻る(B) 次へ > キャンセル	

❸「使用許諾契約書」の画面を確認する

内容をよくお読みの上、次に進んでください。

▼をクリックして続きを見る

使用契約を読んで「同意する」をクリック (同意しない場合、セットアップは続行できません)

「次へ」ボタンをクリック

Windows 98 セットアップ ウィ	ザ - ド	
	使用許諾契約書	
	次の使用許諾契約書をお読みください。セットアップを続 行するには、契約への同意が必要です。	
	MICROSOFT(r) 日本語版 使用許諾契約書	
	■要一次、りかったり、大参約量で注意しよの活みくとと うし、大都国報道の支援した「本英数学者」といいま すり、は、お客種(個人主要には主人のリオアであるかを問 しまご知識の以下した日に示れれいマイクロ報告」とつた「本 クストウェア」といいますりとともにペメきれたコン	
	○ <u>同意する(A)</u> PageDown キーを使って へ 同意しない(Q) スクロールしてください。	
	< 戻る(<u>B</u>) 次へ > キャンセル	
	l	

プロダクト キーを入力

8(ハチ)とB(ビー)などの間違えやすい文字にご注意ください。

「ヘルプ」ボタンをクリックし、表示された画面で「キーボードヘル パを使用する」にチェックをつけ「OK」ボタンをクリックすると、 キーボードを使用せずに、プロダクトキーを入力することができ ます。 「次へ」ボタンをクリック



プロダクト キーは、添付の『Microsoft® Windows® 98ファーストス テップガイド』の表紙に記載されています。

⑤ 画面の指示に従ってセットアップを進める



何度か画面が変わり、次の画面が表示されるまでしばらくかかりま す。途中で再起動を促す画面が表示された場合は、「はい」ボタンをク リックしてください。 ⑥ しばらくして次の画面が表示されたら、各項目の説明を読んだ後、▲をクリック



これでWindows 98のセットアップは終了です。

●「スタート」ボタンをクリック



❷「Windowsの終了」をクリック



3 本体の電源を切る

「電源を切れる状態にする」をクリック

「OK」ボタンをクリック



メッセージが表示され、自動的に電源が切れます。

❷ ディスプレイの電源スイッチを切る

液晶ディスプレイがセットになったモデルの場合は、パソコン本体、 あるいは画面の解像度によって、画面の調整が必要な場合がありま す。

ディスプレイに添付のマニュアルの「画面の調整」項目に従って画面 状態を確認し、表示位置のずれや画面のちらつきがある場合は画面調 整を行ってください。

980FFICIAL PASSメンバーへの登録

98OFFICIAL PASS メンバー(正規ユーザー)への登録を必ず行ってくだ さい。登録方法について詳しくは、添付の『98OFFICIAL PASSお客様登録 申込書』をご覧ください。 なお、パソコンをインターネットに接続している場合には、インターネッ トで登録を行うこともできます。

「980FFICIAL PASS お客様登録カウンター」 http://www.pc98.nec.co.jp/register/

なお、下記のホームページからリンクがはられています。 「98Information」

http://www.nec.co.jp/98/

4

5

便利な機能の設定

このパソコンを使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド ハードウェア編』 および『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

●電源の状態の設定

本機は、電力を節約するスタンバイ機能を利用することができます。 この設定を変更したい場合や、設定内容の詳細については、『活用ガイ ドハードウェア編』の「PART1 本体の構成各部」の「電源」をご覧くだ さい。

2 セキュリティの設定

設定内容の詳細などについては、『活用ガイド ハードウェア編』の 「PART1 本体の構成各部」の「運用管理機能」の「セキュリティ」をご 覧ください。

・セキュリティロック

内蔵部品(メモリやハードディスク)の盗難やスーパバイザパス ワード、ユーザパスワードの解除を防止するため、鍵をかけること ができます。

・パスワードを設定する

スーパパイザパスワード/ユーザパスワードを設定することで、本 機の使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止することが できます。

・スマートカードを利用する

別売のスマートカードリーダ/ライタ(PK-SM001)とスマートカー ド(PK-SM003)を利用することで、個人認証をすることができます。

・ 1/0**ロック**

FDD、CD-ROMなどを利用できないようにします。コンピュータウ イルスの侵入を防いだり、パソコンのデータを無断コピーされた り、パソコンに悪影響を与える恐れのあるアプリケーションなどの インストールを未然に防止することができます。 ● ハードディスクドライブの領域確保

本機のハードディスクドライブは、工場出荷時には1つの領域だけが 確保されています。『活用ガイド ハードウェア編』の「PART1 本体 の構成各部」の「ハードディスクドライブ」をご覧になり、残りの領域 を使用環境にあわせて確保してください。

④利用する添付アプリケーションの設定

- CyberTrio-NX
- CyberWarner-NX
- ・VirusScan など

本機にはシステム管理者向けと一般ユーザー向けの利用環境を設定する機能(CyberTrio-NX), Windows 98の動作に影響を与えるファイルを監視する機能(CyberWarner-NX), ウイルスを検査・駆除する機能(VirusScan)などが添付されています。添付アプリケーションは、「アプリケーションCD-ROM」より追加してからお使いください。

詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

- 運用・管理するためのインストールまたは添付アプリケーションの設定
 - ・メンテナンスウィザード
 - DMITOOL
 - pcANYWHERE32 EX
 - RSA SecurPC
 - Masty Data Backup

本機には、スキャンディスクなどを定期的に実行させるための機能 (メンテナンスウィザード)本機や本機に接続されているパソコン の情報を管理する機能(DMITOOL)遠隔地からパソコンを操作す る機能(pcANYWHERE32 EX)ファイルやフォルダの暗号化/復号 化を設定する機能(RSA SecurPC)ハードディスクをパックアップ する機能(Masty Data Backup)が添付されています。メンテナンス ウィザード以外の添付アプリケーションは、「アプリケーション CD-ROM」より追加してからお使いください。 なお、P.43[®] 電源の状態の設定」により利用できない機能がありま す。詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。 MA30H/Lをお使いの場合は、DMITOOL、pcANYWHERE32 EX、 RSA SecurPC、Masty Data Backupは添付されていません。



マニュアルの使用方法

このパソコンに入っているマニュアルを紹介します。目的に合わせてお 読みください。

マニュアル類はなくさないようご注意ください。なくした場合は『活用ガ イド ソフトウェア編』の PART4 トラブル解決Q&A」の その他」をご 覧ください。

各マニュアルの主な内容

『安全にお使いいただくために』 このパソコンを安全にお使いいただくための情報が 記載されています。

[■]Microsoft_® Windows_® 98ファーストステップガイド』 Windows 98の全般的な基礎知識や基本的な操作方法 が記載されています。

『活用ガイド ハードウェア編』 本体の各部の名称と機能、システム設定(BIOS設定) について記載されています。

『活用ガイド ソフトウェア編』 アプリケーションの削除 / 追加、再セットアップ、ト ラブル解決方法について記載されています。

『ハードウェア拡張ガイド』 本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の 説明について記載されています。

ディスプレイのユーザーズマニュアル 液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデルの 場合は、利用方法が記載されたマニュアルが、ディスプレイに添付され ています。(P.2「11添付品の確認と設置」をご覧ください)。

45

Windows98

MateNX

Mate NX

Mate NX

選択アプリケーションのユーザーズマニュアル モデルによって、一太郎9パック、Word 98 & Excel 97、一太郎9 & 1-2-3 98などのマニュアルが添付されています(P.2「11添付品の確認と設 置」をご覧ください)。

『メンテナンス&サポートのご案内』 ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンス とサポート情報について記載されています。

『NEC PCあんしんサポートガイド』 パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時 のサービス網について記載されています。



NEC

Microsoft**関連製品の情報について** —

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開 発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用 するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

Microsoft、Windows、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録 商標です。

ー太郎、ATOK、花子、FullBandは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

商標「三四郎」は株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

「一太郎9パック」「一太郎9」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎9パック」「一太郎9」にかか る著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

VirusScanは米国Network Associates社およびその関連会社の商標または登録商標です。

AutoCrypt、Emergency Access、RC4ならびにGenuine RSA Encryption and Design、Interlocking Key Design のロゴマークは、米国Security Dynamics社の子会社である米国RSA Data Security社の商標または登録商標で す。RSA SecurPCおよびSecurity Dynamicsは米国Security Dynamics社の商標または登録商標です。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

pcANYWHERE32は、Symantec Corporationの米国における登録商標です。

PS/2は、IBMが所有している商標です。

PentiumはIntel Corporationの登録商標です。

CeleronはIntel Corporationの商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

初版 1998年11月 ©NEC Corporation 1998 日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。 808-877675-082-A